

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 12 No.12 2010年6月30日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2010 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

NTT-ME、NGNの新サービスに対応したHD対応テレビ会議等会議ソリューションの提供開始

株式会社 NTT-ME(東京都豊島区)は、NGNの新サービス(ひかり電話ナンバーゲート、6月1日開始)に対応した「多地点 TV 会議システム」と「会議資料共有システム」を組み合わせた「会議ソリューション」を6月1日より開始した。(5月31日)

NTT-ME では、業務運営における各種会議や打合せなどに費やす移動時間の削減や会議運営の効率化、会議資料のペーパーレス化などを求める声が高まっていることを受けて今回会議ソリューションの提供を開始した。

この会議ソリューションの特長は、NGNの新サービスを利用した高品質なソリューション、また、会議資料共有システムや他システム(既存のシステムも含む)との組み合わせ、さらに、NTT-ME が導入支援から構築、そしてサポートまでワンストップで提供するという点にある。

ワンストップで提供するのは、最初の提案から、設計、構築(NGN 回線サービス申請サポートも可能)、運用サポート(保守、ヘルプデスク)までを含むようだ。またテレビ会議システムの構築は、数拠点の構築から数十拠点規模まで対応する。加えて、既存の社内ネットワーク環境や既存システムとの連携などニーズに対応したシステムの提供も可能。

NTT-ME では、現段階で NGN に対応した NEC 製 NGN 対応多地点間 HD テレビ会議システムを用いて、テレビ会議と資料共有を組み合わせた 40 拠点規模の会議システムの構築検証試験を行い、動作の確認が取れているという。

NEC の HD テレビ会議システム、NTT 東西の新サービス「ひかり電話ナンバーゲート」に対応



NC1000-MV (NEC 資料)

日本電気株式会社(東京都港区)は、東日本電信電話株式会社(東京都新宿区)と西日本電信電話株式会社(大阪府大阪市)が6月1日から新サービスとして開始したひかり電話ナンバーゲートに、NECの多地点HDテレビ会議システム「NC1000-MV」を対応させたと発表した。(5月31日)

NC1000-MV は、ひかり電話ナンバーゲートに対応した多地点 HD テレビ会議システムとしては、業界初という。NECは、NC1000-MVの出荷を2009年4月から開始している。

ひかり電話ナンバーゲートは、帯域確保型データ通信や高品質テレビ電話多地点接続などを可能にするセンタ拠点向けのサービスで、最大 800Mbps の大容量通信を実現する。

NC-1000-MVは、MCU装置とHDテレビ会議端末から構成されており、新サービスに対応したMCUをデータセンターに設置することにより、面倒なネットワーク設計が必要なく、NC1000-MVによる大規模なHDテレビ会議システムが構築できる。

NC-1000-MVは、HDテレビ会議だけでなく、遠隔対面

販売、教育、カウンセリングなどの用途に活用できる上に、出張費削減やCO2削減なども実現できると同社では期待している。

価格は、MCU装置が、105万円(4拠点)から。HDテレビ会議端末は、71万円から。

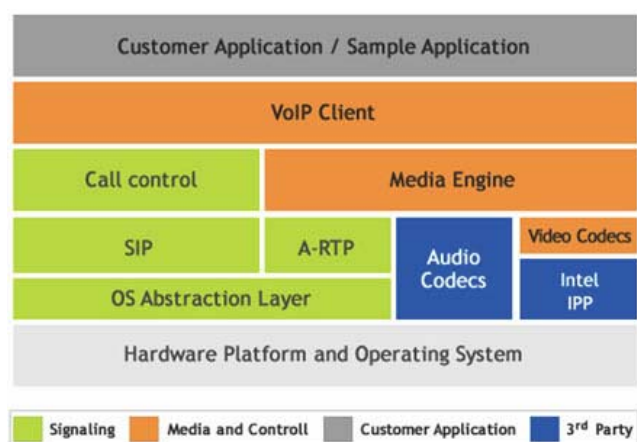
担当部署は、NEC 第一ネットワークソフトウェア事業部。

NTT アドバンステクノロジー、Windows 対応 HD テレビ会議端末開発プラットフォーム販売開始

NTT アドバンステクノロジー株式会社(東京都新宿区)は、RADVISION 社が開発した Microsoft Windows OS 対応 HD テレビ会議端末 SDK「BEEDESK」を6月14日より発売した。また、合わせて、昨年販売開始した組込み向け HD テレビ会議端末 SDK「BEEHD version 2.0」もリリースした。(6月8日)

BEEDESK は、BEEHD で使用する通信制御部とメディアエンジンを採用し、他メーカーの HD テレビ会議機器との接続が容易な開発プラットフォーム。

特長としては、以下の通り。(1)RADVISION 社製映像コーデックを搭載。(2)全世界の通信機器ベンダーに採用されている RADVISION 社製通信ミドルウェアを搭載。(3)Call Control(通信制御部)において他のベンダー機器との相互接続性を吸収。(4)メディアエンジン(メディア制御部)において、コーデックと RTP/RTCP の最適な結合。(5)保留、転送などの電話サービス。



BEEDESK ソフトウェア構成 (NTT アドバンステクノロジー)

料)

仕様については、以下の通り。(1)通信プロトコル:SIP、RTP/RTCP。(2)音声コーデック:G.711。(3)映像コーデック:H.264/AVC。(4)解像度:QCIF、CIF、SVGA、HD(720p)。(5)対応OS:Windows XP、Windows Vista、Windows 7。

BEEDESK は、Windows 向け HD テレビ会議端末の製品開発、または、既存製品への HD テレビ会議機能の追加を行うベンダーや研究機関等向けに提案・販売する。

BEEDESK の今後は、H.264/SVC (Temporal Scalability) や FEC(Forward Error Correction)など BEEHD の技術を順次採用していく予定。

一方、BEEHD version 2.0 で追加された機能は以下の通り。(1)H.323:テレビ会議通信プロトコル。(2)H.239:PCによるプレゼンテーション共有。(3)H.264/SVC。

仕様については、以下の通り。(1)通信プロトコル:SIP、H.323、RTP/RTCP。(2)音声コーデック:G.711、G.729、G.722、G.722.1。(3)映像コーデック:H.264/AVC、H.264/SVC。(4)解像度:QCIF、CIF、4CIF、VGA、HD(720p)。(5)フレームレート:~30fps。(6)その他:H.239、他メーカーの HD テレビ会議システムとの接続。

BEEDESK と BEEHD の価格については、プロジェクト内容や規模に応じて異なる。

ビジネス動向-国内

ソフトフロントとラドビジョン、業務提携に基本合意

株式会社ソフトフロント(東京都港区)と RADVISION 社(イスラエル)は、日本国内における業務提携を行うことで基本合意した。(6月14日)

今回基本合意に至った理由としては、映像・音声・データ通信分野において、両社が保留する技術を共有し、融合させることで大きなシナジー効果が発揮されると期待されるため。

具体的な提携内容については今後両社で協議を行い決定していくが、ソフトフロントの SIP 技術を核とする製品

やNGN網への接続、アプリケーション開発ノウハウと、ラドビジョンのサーバーを中心とした製品や技術を組み合わせることで、新たなソリューションと製品の提供を行うとともに、営業面においても、相互連携を行っていく考えだ。

ソフトフロントは、国内におけるSIPのリーディングカンパニーとして、高い接続性のあるSIPソリューションやミドルウェアを通信機器メーカーや通信事業者へ提供している。最近は、とくにNGNに関連した幅広い分野での商用サービスの構築とアプリケーション開発に注力している。

ラドビジョンは、総合ビジュアル通信のリーディングカンパニーとして、IPや3Gネットワークに関連した製品や技術の他、最も幅広くかつ完全な形で標準に準拠したビデオネットワークの基盤とその構築技術も市場へ提供している。日本法人は、RADVISION Japan株式会社(東京都台東区)。

NTT ビズリンクとシスコシステムズ、テレプレゼンスサービスの商用化に向け共同検証を実施

NTT ビズリンク株式会社(東京都文京区)とシスコシステムズ合同会社(東京都港区)は、テレプレゼンスサービスの商用化に向けて共同検証を開始すると発表。(5月31日)

この共同検証は、シスコのテレプレゼンスシステムを用い、NTT東日本とNTT西日本が提供する「ひかり電話ナンバーゲート」を利用した従量制・帯域確保を特長とする新しい多地点接続サービスの商用化に向けて行われるもの。

昨今、円滑なコミュニケーションを図りたいという企業ニーズが高まっており、対面会議をしているような臨場感あふれる高品質な映像コミュニケーションを提供するテレプレゼンスに注目が集まっているが、一方でアウトソーシングによる業務の簡素化やコスト削減が期待されているという。

そういった背景から、多地点接続サービスを提供しているNTTビズリンクは、全世界で数多くのBtoB接続の実績があり、NTT東日本/NTT西日本の「ひかり電話」(NGN)に既に対応しているシスコのテレプレゼンスシステムを用いて、今回のテレプレゼンスサービス実現に向けての実証実験を開始することにしたという。

ひかり電話ナンバーゲートは、NTT東日本、NTT西日本が提供するセンタ拠点向け大容量光IP電話サービス。帯域確保された双方向通信が可能で、最大200回線分の同時接続が出来る。

NTT ビズリンクとNTT ソフトウェア、「ひかり電話ナンバーゲート」利用のテレビ会議多地点接続サービスの共同検証の実施

NTTビズリンク株式会社(東京都文京区)とNTTソフトウェア株式会社(東京都港区)は、NTT東日本とNTT西日本の「ひかり電話ナンバーゲート」に対応するテレビ会議多地点接続サービスの商用化に向けて、NTTソフトウェアのNGN対応ソフトウェアアプライアンス「Crossway(クロスウェイ)」を活用した共同検証を開始すると発表。(5月31日)

テレビ会議の高機能化と低価格化によって、IP-VPN等を使った社内のテレビ会議だけでなく、外部の取引先やグループ会社間でのテレビ会議を行う機会が増えており、帯域確保型で高セキュリティかつ低価格なひかり電話ナンバーゲートを使用したサービスに期待が高まっていることから今回共同検証を開始した背景にある。

Crosswayは、NGN非対応端末をNGNに接続することができるIP電話ゲートウェイ装置。NTT東日本とNTT西日本が提供する「フレッツ光ネクスト」を利用した「ひかり電話(ひかり電話A、オフィスタイプ、オフィスタイプA、ひかり電話ナンバーゲートを含む)」に対応しており、NGNの高音質電話、テレビ電話、帯域確保型データ通信サービス「データコネク」が利用することが可能(ただし、申込と対応機器などが必要)。また「ひかり電話」に対応していない既存のテレビ会議端末などをひかり電話に接続できるという特長がある。

(次ページへ続く)

NTT とパナソニックの HD 対応テレビ会議システム、NGN 上で相互接続を実現

日本電信電話株式会社(東京都千代田区)は、パナソニック株式会社(大阪府門真市)と共同で NGN を利用したハイビジョンによる映像コミュニケーションを相互に利用できるようにしたと発表。NTT としては、NGN を活用したサービスの拡大を進めていく考えだ。(6月8日)

今回、NTT とパナソニックは、ハイビジョン映像通信の接続方法を統一させることで、NTT の HDTV 映像コミュニケーションソフトウェア「RISCA264-HD」と、パナソニックの HD 映像コミュニケーションシステム「KX-VC500」とを相互に接続できるようにした。

加えて、ハイビジョン映像の安定した伝送を実現するために、NGN の品質確保 QoS 機能を利用する。NGN では、従来のベストエフォート型に加えて、テレビ電話や映像配信を想定して、品質確保型の 3 つの優先クラスも提供している。

一方、利用にあたっては、フレッツ光ネクスト(NGN 回線)とひかり電話の環境があれば、電話番号による接続が可能。別途、そのためのテレビ会議接続サービスの契約をする必要はない。

NTT は、NGN や光、3G/LTE を使ったサービス創造の一環として、映像コミュニケーションサービスの普及促進に取り組んでおり、国際標準化を牽引してきた H.264 や G.711.1 を活用し、HDTV 映像コミュニケーションソフトウェア RISCA264-HD を開発した。

しかし、一方で NGN に対応した映像コミュニケーション製品は、技術的な違いから各社の製品を相互で接続することができなかった。そこで、NTT は、TTC(情報通信技術委員会)にハイビジョン映像通信方法の標準化を働きかけるとともに、各メーカーと連携した検証・開発を進めているという。

RISCA264-HD は、市販のパソコン上で動作するソフトウェアでフルハイビジョンの映像コミュニケーションに対応している。エコーキャンセラー、NGN 帯域制御に対応。今年度下期に NTT グループ会社から販売予定。

KX-VC500 は、ビエラやディーガで培った H.264 技術で

低遅延フルハイビジョンを実現。独自のステレオキャンセラーを搭載。市販のビデオカメラ、HDMI ケーブルに対応し簡単にセットアップできるところが特長という。NGN へは 2010 年 10 月に対応予定。

製品・サービス動向-海外

LG エレクトロニクス社とライフサイズ社、オールインワンの HD ビデオ会議システムで協業

LG エレクトロニクス社とライフサイズ・コミュニケーションズ社は、オールインワンの HD ビデオ会議システムで協業すると発表。(6月9日)



LG Executive (LG エレクトロニクス、ライフサイズ資料)

発表された新製品は、「LG Executive(LG エグゼキュティブ)」。LG Executive は、1920x1080 解像度に対応した 24 インチ HD ディスプレイ、720p カメラ、マイクロフォンアレイ、スピーカーを内蔵する。モニターは、720p30 フレーム/秒に対応したビデオコールだけでなく、PC 画面としても活用できる。また H.323、SIP、Skype 音声に対応する。

さらに、LG Executive は、アルカテルルーセント、アスタリスク、アバイア、ブロードソフト、シスコ、マイクロソフト、ショーテル各社のユニファイドコミュニケーションにも対応する。

販売開始は、第三四半期(7月-9月期)の予定。

Compunetix 社、テレビ会議用多地点接続装置の新製品を発表

米 Compunetix 社は、テレビ会議用多地点接続装置の新製品「EVERGREEN(エバーグリーン)」を発表した。(6月1日)

EVERGREEN シリーズは、「Cedar(シーダー)」、「Cypress(サイプレス)」、「Sequoia(セコイア)」の3システムを提供。企業ユーザから、多地点接続サービス事業者(CSP)、あるいは、政府系まで幅広いニーズに対応する。

Compunetix 社は、音声会議向けの多地点接続装置や Web コラボレーションソフトウェアなどで実績を持つ。すでに28カ国に50万ポート相当の多地点接続装置を販売している。

今回テレビ会議用装置の販売に踏み切った背景には、現在のテレプレゼンスシステム、デスクトップシステム、スマートフォンなどにおけるビデオの浸透がある。そこで、Compunetix 社は、ビデオを含めた企業向けのコラボレーションプラットフォームや、政府機関向けソリューションにおける信頼性や冗長性、あるいはセキュリティなどにおける実績やノウハウを EVERGREEN の開発に投入。EVERGREEN を市場に提供することで、テレビ会議事業を強力に展開する考えのようだ。

日本での発売時期などについては、CNA レポート・ジャパンでは未確認。

ビジネス動向-海外

Compunetix 社と日立ハイテクノロジーズ、テレビ会議多地点装置の日本国内販売で提携

米 Compunetix 社の発表によると、同社と株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)は、Compunetix 社のテレビ会議多地点接続装置「EVERGREEN」の日本国内における総販売代理店契約(exclusive distribution agreement)を締結したと発表した。(6月1日)

EVERGREEN は、6月1日に Compunetix 社から発表されたテレビ会議多地点接続装置の新製品。Compunetix 社は、今回の日立ハイテクノロジーズとの提携による日本での

製品販売の拡大に期待している。

一方、日立ハイテクノロジーズは、EVERGREEN について、他社にない機能やパフォーマンス、また、非常に競争力のある価格設定と評価し、日立ハイテクノロジーズが開発したテレビ会議簡易運用ソフトウェア「EZ 会議」と EVERGREEN の API を組み合わせたカスタムソリューションなどの提供も考えている。

■Compunetix 社と Spire Global 社、米国内での販売で提携

米 Compunetix 社と米 Spire Global 社は、Compunetix 社のテレビ会議多地点接続装置「EVERGREEN」の米国内における販売代理店契約(distribution agreement)を締結したと発表した。(6月1日)

Spire Global 社との提携によって、米国内での企業ユーザへの販売展開が強化できると Compunetix 社では期待している。Spire Global 社は、ソニーブランドのビデオ会議製品を米国国内において独占的に取り扱う。しかし直接販売はおこなわず、ディストリビュータやリセラーネットワークの管理・支援・拡大、または、市場での認知の向上などの取り組みなども行っている。

今回の提携によって、EVERGREEN と、「PCS-XG55」や「PCS-XG80」などソニービデオ会議との組み合わせによるビデオ会議ソリューションの提供を検討している。

Google 社、Global IP Solutions 社へ買収提案

米 Google 社は、Global IP Solutions 社に対して、株式公開買付による買収を提案したと発表した。(5月17日)

今回の買収の背景としては、インターネットにおけるリアルタイムのビデオと音声によるコミュニケーションが、ユーザにとって重要なツールになってきた中で、IP コミュニケーションをより加速化させたいという思惑がある。

株式公開買付は、Google 社の子会社である Google Acquisition Holdings 社が実施する。1株当たり13 NOK(ノ

ルウェークローネ、2.12USD)、総額4億2100万NOK(6,820万USD)の買収が行われる予定。買収資金については、Google社の既に所有する資金から全額賄われる。

ただし、買収には条件があり、Global IP Solutions社の全株式保有者の90%以上から買収に対する同意を取り付ける必要がある。Google社は、GIPS社の全ての株主に対して、6月4日を公開買付け期限として、取引条件に関する詳細を5月20日頃に送付した。期限は延長される可能性もあるが、買収手続きが完了するためには、2010年8月31日までに90%以上の株主から買取りを完了する必要がある。しかし、Google社が買収を断念すれば今回の提案は白紙に戻る。

GIPS社の取締役会では今回の買収に関する提案を株主が受け入れるように決議した。現在50%以上の議決権(outstanding shares)を所有するKistefos Venture Capital AS社とKistefos Venture Capital II DA社が既に買収提案に応じているという。

Global IP Solutions社の株は、現在オスロ証券取引所に上場されており、90%以上の買収手続きが完了した際には、上場取り消し(de-listing)の手続きを行い、スウェーデン法に則り、残りの株式について強制的買取り手続き(compulsory acquisition)に入る予定。加えて、今回の件について独占禁止法当局から承認手続きを要する買収には当たらないという。

GIPS社は、1997年スウェーデンに設立。現在、サンフランシスコに本社を置く。GIPS社の技術は、オラクル、サムスン電子、WebEx、Yahoo!、AOLなどVoIP企業で採用されている。

ポリコム、ユニファイドコミュニケーションでHPとの提携を拡大、ポリコムCXシリーズ電話機発売予定

米ポリコム社は、ヒューレット・パッカード・カンパニー(以下HP)とのユニファイドコミュニケーションソリューションの提供において提携を発表。(5月27日)

今回の提携は、Polycom Open Collaboration Network 戦

略に基づくもので、両社が提携関係にあるマイクロソフトをはじめとするユニファイドコミュニケーションソリューションを提供するが、単一ベンダーのプラットフォームにこだわらず、ベスト・オブ・ブリードのアプローチで、顧客にとって最良のハードウェアやソフトウェアを選択し、その組み合わせでシステムの構築を行い、顧客に提供する。

今回の提携により、ポリコムのビデオ会議および音声会議ソリューションは、HPが提供するユニファイドコミュニケーション&コラボレーションソリューションの一部として提供される予定。

これによって、ユーザは、コミュニケーションシステムの検証、設計、実装、サポートにHPの世界的な事業網を活用できるメリットがあり、ポリコムのテレプレゼンスおよびビデオ会議システム製品ラインと、HPのHaloテレプレゼンスソリューションとの相互運用性も提供される。

また、今回の提携は、ポリコムとHP、ならびにアバイアやマイクロソフトなどの大手UCプロバイダーとの既存の提携関係を拡大する。

この中には、アバイアやマイクロソフトのUC環境に統合できるポリコムの音声およびビデオ会議ソリューション、「Microsoft Communications Server14(マイクロソフトコミュニケーションズサーバ14)向けVoIP電話機の拡充も含まれる。

さらに、ポリコムは、マイクロソフトのUCと連携する音声およびビデオ会議ソリューションを包括的に提供しているが、ポリコムとマイクロソフトは、ユーザがより効果的にコラボレーションできる新たなUCソリューションを共同で開発提供する。

ポリコムは、3機種の新しい「CXシリーズ」IP電話機を発売する予定。そのうち2機種は、VoIPハンドセット電話機で、もう1機種は、Microsoft Communicator 14用のIP電話機になる。ポリコムによると業界初で唯一Microsoft Communicator 14に対応したIP電話機になるという。加えて、広帯域音声を実現する「Polycom HD Voice」対応。

既に、ポリコムのソリューションで連携するマイクロソフト

の UC は、「Microsoft Office Communications Server(OCS)」、「Microsoft Communications Server 14」、「Microsoft Exchange Server」、「Microsoft SharePoint Server」、「Microsoft Active Directory」がある。

セミナー・展示会情報

< 国内 >

実践！次世代型ビデオ会議システム有効活用セミナー

日時：(東京、大阪同時開催)

ー販売店様向け：

7月2日(金)16:00-17:30(受付:15:45~)

7月14日(水)16:00-17:00(受付:15:45~)

ーエンドユーザ様向け：

7月8日(木)13:30-15:00(受付:13:15~)

7月23日(金)13:30-15:00(受付:13:15~)

会場：VTVジャパン 東京本社、大阪オフィス

主催：VTVジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.vtv.co.jp/seminar/1006vidyo/index.html>

*Vidyoソリューションの紹介およびデモ。

オンラインセミナー『Web会議導入の秘訣&事例セミナー』

日時：7月6日(火) 14:00~15:00

会場：オンラインセミナー(Web会議)

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：http://www.vcube.co.jp/secret-seminar/0621_1646.html

UC サミット 2010

ボーダレス時代に企業の成長戦略を強化する企業のコミュニケーション戦略

日時：7月6日(火) 10:20-16:30

会場：東京ステーションコンファレンス 5F

主催：リックテレコム

詳細・申込：<https://expo.ric.co.jp/uc2010/seminar/seminar.asp>

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』 定期開催

日程：7月7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水)

※全ての日程で14:00~15:00、16:00~17:00の2回開催

会場：NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催：NEC

詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

オフィスセキュリティ EXPO OSEC

遠隔会議システム フェア

日時：7月7日(水)-9日(金)

会場：東京ビックサイト

主催：リードエグジビションジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.osec.jp/osec/jp/visit/remote.phtml>

*またリードエグジビションジャパン開催の教育ITソリューション Expo(7月8日-10日)に会議システム関連出展あり。

在宅ワークにおけるビジュアルコミュニケーションの有効性～ iPhone から参加する"Web会議"デモ実演～

日時：7月13日(火)

受付：15:15~15:30、講演：15:30~16:30

質疑応答：16:30~

会場：ブイキューブ 本社(東京都目黒区)

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：http://www.vcube.co.jp/secret-seminar/0621_1721.html

Web会議/WebコラボレーションSaasBaord

無料セミナー『クラウドコンピューティング時代における劇的経費削減の方法』

日時：7月23日(金)13:30~17:00(13:00開場)

場所：渋谷区商工会館6Fクラブ室

主催：ニューロネット株式会社

共催：ワクコンサルティング株式会社、ライド株式会社

詳細・申込：<http://www.neuronet.co.jp/seminar/mailform100723.html>

ビデオ会議システムの新規導入、リプレースをご検討中のお客様必見！高精密ビデオ会議システム導入セミナー

日時：7月23日(金)15:00~17:00(受付:14:30)

会場：日立情報システムズ 本社2F

Cloud & Virtualization Clinic センター(CVC)

主催：株式会社日立情報システムズ

詳細・申込：<http://www.hitachi.joho.com/seminar/2010/07/0723.html>

< 外国 >

The Hidden Challenges Of Developing HD Visual Communication Products

日時：(米国時間)7月7日 11:00 AM EDT / 8:00 AM PDT

会場：Web オンラインセミナー

主催：RADVISION

詳細・申込：<https://event.on24.com/eventRegistration/>

The WR Collaboration Summit - Boston 2010

会期：7月20日-21日

会場：アメリカ マサチューセッツ州 The Hyatt Regency Cambridge

主催：Wainhouse Research, LLC

詳細・申込：

<http://www.wainhouse.com/events.php?sec=34&opt=upcoming&event=312>

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

次回も宜しく願います。(橋本啓介)